

平成26年度 学校評価実施報告書

学校名(京都市立旭丘中学校)

1 平成26年度 重点評価項目

(1)「確かな学力」の育成 (2)「豊かな心」の育成 (3)「健やかな体」の育成 の調和 と (4)本校独自の取組の充実

2 1回目評価

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定						自己評価		学校関係者評価	
各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						評価日 平成26年10月		評価日 平成26年10月28日	
アンケート実施結果、その他指標の結果について整理						評価者・組織 学校評価委員会		評価者(いずれかに○) 学校運営協議会 学校評議員	
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校 評議員による改善 に向けた支援策
1	確かな学力	わかる授業の創造 家庭学習の確立 コミュニケーション能力の育成	各教科での言語活動の充実 研究授業・公開授業の実施 家庭における計画的な学習の習慣化の定着の推進と発信 感想文・説明文の取組の定着	わかる授業、一人ひとりを大切に授業の実施 家庭における計画的な学習の習慣化 自分の考えをまとめ説明したりできる	全国学力調査では、わずかながら平均を上回っている。 特に2年生においては学年体制で家庭学習を習慣化している。 半数の者が難しいと捉えている。	⇒	・言語活動を積極的に取り入れることにより、少しずつではあるが成果が上がっている。 「私の主張」では自らの意見をしっかりと述べることでできている生徒が増えてきた。 ・家庭学習については、徐々にではあるが定着しつつある。	⇒	文章や資料を読み取り説明したりすることが難しい生徒が多いので、普段の授業の中で意図的に取組を進めていきたい。 ・家庭学習の習慣化をはかるため、教育相談・進路相談の機会を通しはたらきかけていきたい。
2	豊かな心	豊かな心の育成 豊かな人間関係の構築 豊かな学校生活の創造	道徳教育の推進、あるべき学級集団づくりの推進 学級における仲間づくり、教職員との豊かな人間関係づくり 学校行事・生徒会活動などの充実	道徳教育の推進や仲間づくりを大切にする学級集団づくり 学級における友人との関係や教職員との豊かな人間関係 学校行事や生徒会活動、参加体験型学習の推進	思いやりや優しい心を持つ生徒が増えている。 仲間を大切にすることができている生徒が増えている。 意欲的に参加できる生徒が増えている。	⇒	・思いやりや優しい心を持つ、仲間を大切にする生徒が着実に増えている。 ヒューマンタイム等の成果もあるが、家庭との連携が大きな成果を上げているのではないかと考えられる。 ・生徒主体を意識した取組を心がけている。	⇒	道徳授業や人権学習などの機会だけではなく、日常の些細な場面における教育機会を見逃さず、指導することを心がけていきたい。 ・学力を高めるための生徒の意識向上をさらに推進していきたい。(生徒会活動のさらなる充実)
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立 健やかな体の育成と体力の向上	早寝・早起き・朝ごはん等の推進 体育的行事等の充実と部活動の推進	早寝・早起き・朝ごはん等の推進と家庭教育力との連携 体育大会や球技大会、部活動の充実	朝食摂取率は80%を超えるが、就寝・起床時間についてはばらつき 大半の生徒が楽しく、意欲的に参加できている。	⇒	・朝食を取らない生徒が若干いるので取組を進めていきたい。 ・運動が好きな生徒は多いが、体力面で課題は残る。	⇒	・保健委員会等の活動を通して、基本的生活習慣の定着に向けてさらにはたらきかけていきたい。 ・体育授業や体育的行事の重要性をさらに認識させたい。
4	独自の取組	小中一貫教育の推進 情報発信の充実 地域との協力関係の推進	HATTコンチネンツプラン(小中合同研修会・小学生の授業、部活動体験)の推進 学校HPの充実とPTAメールの配信の実施 旭丘地生連活動の充実と学校運営協議会の推進	HATTへの積極的な参加や各取組の推進 学校HPの定期的更新やPTAメールの随時の発信 旭丘地生連活動の活性化と学校運営協議会の取組の推進	年々、校種間の理解が進んできている。 毎日の学校の様子を学校HPで発信できている。 年3回以上の会議を持ち、協力体制を築いている。	⇒	・小中の校種の違いを正確に認識し、理解を深めることに取組を進めている。年に何度か顔を合わせる機会を設け、共通理解をはかっている。 ・広報活動にも力を入れており、多くの情報をタイムリーに伝えることができている。	⇒	・テーマをさらにしぼった協議等の取組をすすめることにより、交流を深め9年間の学びを支えていきたい。 ・これまで通り、タイムリーな広報活動に取り組んでいくことと学校運営協議会での意見交換をさらに活性化していきたい。

平成26年度 学校評価実施報告書

3 2回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定						・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		
1	確かな学力	わかる授業の創造 家庭学習の確立 コミュニケーション能力の育成	各教科での言語活動の充実 研究授業・公開授業の実施 家庭における計画的な学習の習慣化の定着の推進と発信 感想文・説明文の取組の定着	わかる授業、一人ひとりを大切に授業の実施 家庭における計画的な学習の習慣化 自分の考えをまとめ説明したりできる	全国学力調査では、わずかではあるが平均を上回っている。 家庭学習の習慣化に向けて、各教科・各学年工夫している。 徐々にではあるが上昇傾向にある。	⇒
2	豊かな心	豊かな心の育成 豊かな人間関係の構築 豊かな学校生活の創造	道徳教育の推進、あるべき学級集団づくりの推進 学級における仲間づくり、教職員との豊かな人間関係づくり 学校行事・生徒会活動などの充実	道徳教育の推進や仲間づくりを大切にする学級集団づくり 学級における友人との関係や教職員との豊かな人間関係 学校行事や生徒会活動、参加体験型学習の推進	思いやりや優しい心を持つ生徒が徐々に増え続けている。 仲間を大切にすることができている生徒が徐々に増え続けている。 学年にはばらつきはあるが意欲的に参加できている。	⇒
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立 健やかな体の育成と体力の向上	早寝・早起き・朝ごはん等の推進 体育的行事等の充実と部活動の推進	早寝・早起き・朝ごはん等の推進と家庭教育力との連携 体育大会や球技大会、部活動の充実	朝食摂取率は80%を超えるが、就寝・起床時間については課題がある。 少し学年によりばらつきがあるが、楽しく意欲的に参加できている。	⇒
4	独自の取組	小中一貫教育の推進 情報発信の充実 地域との協力関係の推進	HATTコンチネントプラン(小中合同研修会・小学生の授業、部活動体験)の推進 学校HPの充実とPTAメールの配信の実施 旭丘地生連活動の充実と学校運営協議会の推進	HATTへの積極的参加や各取組の推進 学校HPの定期的更新やPTAメールの随時の発信 旭丘地生連活動の活性化と学校運営協議会の取組の推進	校種間の連携や相互理解が進んできている。 毎日の学校の様子を学校HPで発信できている。 年3回以上の会議を持ち、協力体制を築いている。	⇒

学校名(京都市立旭丘中学校)

自己評価		学校関係者評価	
評価日	平成27年2月	評価日	平成27年3月2日
評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策	学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
・言語活動を積極的に取り入れることにより、少しずつではあるが成果が上がっている。「私の主張」では自らの意見をしっかりと述べることでできている生徒が増えてきた。 ・家庭学習については、徐々にではあるが定着しつつある。	・文章や資料を読み取り説明したりすることを苦手と感じている生徒が多いので、普段の授業の中で意図的に取組を進めていきたい。 ・家庭学習の習慣化をさらに徹底するため、学校でも積み残し課題に取り組ませるなど取組を強化している。	⇒	学校評価アンケートなどから改善すべき点を明らかにし、取組を推進してもらいたい。そして、学年の取組でとどまることなく、必要とされるものは全校体制で取組を進めてもらいたい。
・思いやりや優しい心を持つ、仲間を大切にする生徒が着実に増えている。 ヒューマンタイム等の成果もあるが、家庭との連携が大きな成果を上げているのではないかと考えられる。 ・生徒主体を意識した取組を心がけている。	・道徳授業や人権学習などの機会だけではなく、あらゆる教育活動の場面を見逃すことなく、指導することを心がけていきたい。 ・生徒会活動の充実を目指し、生徒の意欲や創造力を大切にし意識向上をさらに推進していきたい。	⇒	来校時の挨拶など気持ちよく接してくれる生徒が増えてきている。環境整備活動にも積極的に参加した生徒が多く、今後も続けていくべきである。
・朝食を取らない生徒が若干いるので取組を進めていきたい。 ・運動が好きな生徒は多いが、体力面で課題は残る。	・保健委員会等の活動を通して、基本的生活習慣の定着に向けてさらにはたらきかけていきたい。 ・体育授業や体育的行事の重要性をさらに認識させたい。	⇒	部活動などを通して意欲的に取り組んでいる姿勢が受け取れる。今後も日頃の成果を全力で発揮してもらいたい。
・小中の校種の違いを正確に認識し、理解を深めることに取組を進めている。年に何度か顔を合わせる機会を設け、共通理解をはかっている。 ・広報活動にも力を入れており、多くの情報をタイムリーに伝えることができている。	・討議テーマを特化させた協議等の取組を充実させることにより、さらに交流を深め9年間の学びを支えていきたい。 ・従前の取組を大切にしながら、時期相応の広報活動に取り組み、学校運営協議会での意見交換をさらに充実させていきたい。	⇒	小中の連携をさらに密にして9年間を見据えた取組をしていただくと安心である。HPを通して学校の広報活動は新たな工夫を凝らしながら今後も続けてもらいたい。

4 総括・次年度の課題

- ・学力向上に向けて、保護者の立場からの意見もしっかりと吸収し、校内で議論を深め取組を強化していきたい。
- ・あらゆる教育活動を通して、優しい心、思いやりの精神を大切にできるよう、三位一体となって見守ってきたい。
- ・子どもたちの基本的生活習慣のさらなる定着が、学力向上に大きく関係することの重要性をあらゆる場面で啓発していきたい。
- ・学校運営協議会を活用した教育活動をさらに充実させ、地域コミュニティを発展させられるよう、また、その成果が本校教育活動に大きく関連することをさらに検証・実践していきたい。